

科目群	科目区分等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2 単位 保育の本質・ 目的	障がい者福祉	相馬 大祐	1 年次	春

授業のキーワード	障がい 障がい者 障がい者の心理 福祉サービス
授業の概要	障がいの定義、制度、心理等を理解することを目的にします。これにより、障がい者支援施設等で実習する際の基礎知識を習得してもらうほか、地域で生活する障がい者への理解が深まることを目的とします。
期待される学習成果（目標）	1. 障がいの定義、障がい者の心理等を理解し、障がい者支援施設等の実習で求められる基礎知識を体得します。 2. 障がい者支援施設だけではなく、地域で生活する障がい者への理解を深めます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	ガイダンス	講義の流れと内容、受講上のルールの確認を行います。	第 9 講	自閉症について（1）	自閉症の方の障がい特性について理解を深めます。
第 2 講	障がいとは	私たちがもつ「障がい者」のイメージについて考えます。	第 10 講	自閉症について（2）	生活の実際について理解を深める。
第 3 講	障がいがあるということ（1）	疑似体験・ディスカッションをします。	第 11 講	障がいがある人の生活の場・就労の場	知的障がいがある人の場合の生活の場・就労の場について。
第 4 講	障がいがあるということ（2）	疑似体験・ディスカッション。	第 12 講	障がい者を対象とした制度について（1）	障がい者の生活に係る制度の概要について理解を深めます。
第 5 講	障がい児・者とは	障がいの定義と種類について考えます。	第 13 講	障がい者を対象とした制度について（2）	障がい者の生活に係る制度の現状について理解を深めます。
第 6 講	知的障がい者について（1）	知的障がいがある人について、理解を深めます。	第 14 講	サービスの実際	施設で生活する障がい者、在宅で生活する障がい者が利用できるサービスとその実際について。
第 7 講	知的障がい者について（2）	コミュニケーションの取り方と支援の実際について。	第 15 講	まとめ	本授業のまとめをする。
第 8 講	知的障がい者について（3）	コミュニケーションの取り方と支援の実際について。	定期試験		用語の理解、障がい福祉制度の理解、コミュニケーション方法の理解を問う記述式の試験を行う。
評価方法		テスト（60%）、受講時の発言内容(10%)、リアクションペーパー(30%)			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
適宜指示する			よくわかる障害者福祉（ミネルヴァ書房） 小澤 温編		